



多様化するライフスタイルと共に 改革する組織づくり

一般社団法人 大阪府作業療法士会
会長 関本 充史 (株式会社リニエ)



COVID-19が5類へ移行するにあたり、感染対策が緩和されるが、会員の皆さまの所属先では今までと同様の感染対策がなされているかと思えます。

2023年12月に行われました第37回大阪府作業療法学会では、藤原太郎学会長により対面にて盛大に行われました。藤原学会長はじめ、運営に携わってくださった会員の皆さまに、この場を借りて御礼申し上げます。コロナ禍以来、2回目の対面開催学会であり、久しぶりの対面に喜びの声や会員同士の意見交換も活発に行われていました。今回の学会は、石尾山弘法寺での「死生観」ワークショップ、商業施設での「eスポーツ×作業療法」ワークショップ、特別企画では着物でのパラコレ、図書館でも作業療法士の啓発コーナー設置など、様々な企画が実施され、まち全体が学会会場となり一般市民の方が100名近くご参加くださった学会でした。まさに、学会のテーマである「ユニバーサルなまちへ向かって」の一步でした。2023年度はCOVID-19の5類へ移行に伴い、当士会運営方法も変更してきております。行政からの事業受託、対面での研修会再開や対面会議実施など随時進めています。また、入会手続きや研修会受講料納入に関しても、ネット上で手続きできるシステムの導入も随時導入しました。

2024年度は、日本作業療法士協会と共に協会員=士会員の整備、組織活性化に向けて実施の年度となります。2025年度には、EXPO 2025 大阪・関西万博を迎える年であると共に、当会が40周年を迎える年となります。117名の会員からスタートした当会は、今や会員数が2500名を超え、行政などから業務委託を受託できる職能団体へと成長しています。しかし、20歳代・30歳代の作業療法士有資格者の入会率が低下している課題も直面しております。若い世代が多い職種だけでなく、働き方やライフスタイルの多様化もあり、多くの会員の意見に耳を傾けて若い世代からベテランの世代までが参画しやすい組織づくりを目指していきます。働き方改革も相まって、育児や介護による休職中会員への休会制度導入や組織運営の方法なども見直していきます。当士会の目的である「大阪府民の保健・医療・福祉の発展に寄与する」を達成するために、私たちは自己研鑽に努め、医療職として対象者に適切に作業療法を届けられるよう、邁進していきます。これも会員の皆さまのご理解あってのことです。本年も大阪府民に役立つ職能団体として、邁進していきますので、何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。